

9月29日(水)

本年度第12回(通算2558回)12時30分～

釧路プリンスホテル

『新入会員卓話』

担当/プログラム委員会

☆お客様と来訪ロータリアン

☆メイクアップ

☆出席報告【会員総数68名 免除13名 出席計算に用いた会員数68名】

9月 1日	出席及びメイクアップ数	48名	出席率	70.5%
9月 8日	〃	50名	出席率	73.5%
9月12日	〃	45名	出席率	66.1%

☆ニコニコ献金(今年度累計 249,000円)

<新入会員卓話よろしく>	三原克也君、泰地浩幸君
<新入会員卓話よろしくお願ひします>	島田利明君、中島谷友一朗君
<結婚記念日のお花ありがとうございます>	佐渡正幸君、三宅弘泰君
<今日が誕生日です。ケーキお待ちしています>	中嶋嘉昭君
<美味しいケーキを頂きました>	迫田 武君
<これからの人生を罪滅ぼしに使います>	田中和紀君

☆会長挨拶

日本中が、ようやく秋らしくなってきました。富士山には例年より10日も早い初冠雪がありました。今年のこの異常なまでの暑さの原因は、地球温暖化のせいではないかと思っ  
ている方も多いと思います。そしてこれからやって来る冬は、予想では例年ほどの寒さか、それより寒くなると予想されています。温暖化の影響なのに寒くなるという。何かこの気候は一筋縄ではいかないような気がいたしております。

今日は、今期初めての新入会員卓となっております。私も入会の翌年に15分ほど時間を頂きまして、家族一人ひとりを紹介し、その日常の話をさせていただきました。今でも忘れることの出来ない15分間でした。本日スピーチされます島田君、中島谷君にとりましては、又とない自己PRの場です。良い思い出になります様ご祈念いたしまして、会長挨拶とさせていただきます。

☆幹事報告

- ①10月1日～3日まで地区大会に23名にて参加してまいります。  
個人のお車にて会場入りですので、安全運転にてお願いします。
- ②釧路市女性団体連絡協議会より会報が届いております。回覧致しましたのでご覧ください。
- ③10月13日の職業奉仕講演例会のスケジュールを後日配信致します。各RCとRACも参加されると思いますので、会員の多数参加お願い致します。
- ④RIより10月のレートのお知らせが届いています。1ドル86円です。
- ⑤10月6日の例会を所用にて欠席となります。宜しくお願い致します。



☆プログラム委員会  
委員長 石井東洋彦君

今週は新入会員卓話と言う事ですが、その前に先週お話を頂きました高橋邦弘会員、小野寺英夫会員有り難うございました。先ほどの、丹葉会員のお話もそうでしたが、やはり、会員の卓話を通して、その方を知る事が出来ると思っておりますので、「会員卓話 私の職業」はあと3回残っております。自薦他薦は問いませんので、是非、会員の皆様からご連絡を頂きたいと思えます。

それでは、本日はお二人の新入会員の方に、卓話を予定しておりますので、宜しくお願い致します。



新入会員 島田利明君

話は、聞く方が疲れる話の方が楽だと思ひ皆様が疲れない話を考えておりましたが、なかなか考えもまとまらず、やはり本日は、自己紹介をさせていただきます。

私は、今年で55歳になります。職業は生命保険業界にありまして、入社したのは昭和55年23歳の時でした。実を申しますと、最初は入社する気持ちはありませんでした。それでは、最初は何をしたかったのかと申しますと、お国のために何かしたいなと思っておりました。国防関係の仕事に就きたいと思ひまして、21歳の時、九州の久留米にあります陸上自衛隊の幹部候補生学校と言う所に入ってみたいと思ひました。なぜ、そこが気に言ったかと申しますと、そこは1年間の訓練に行きますと将校になって出られると言うことで、そんな格好いい所なら入ってみたいと思ひ、友達と二人で行きました。久留米に着きまして何処に何かあるか解らず、タクシーに乗り、陸上自衛隊の幹部候補生学校に行きたいと告げると、今時、志尚な若者だねと言われました。学校に入りますと、昭和20年8月15日に最後まで本土決戦をやるんだと言うことで責任を取って割腹自殺をした阿南陸軍大臣の血糊の付いた日章旗が飾ってありました。これを観たとき、私にはここまでの覚悟は無いなと思ひ半分くじけました。そして、家に

戻り両親にも反対されまして、くじけてしまいました。そんな時、日本生命の幹部候補生募集のチラシを見て、同じ幹部候補生だと言う事で。日本生命に入社致しました。

私の人生の転機は3回で、進学・就職、最愛の妻との結婚です。そして、7年前最愛の妻がガンの告知を受け、1日5箱も吸っていたタバコを願掛けで止めました。皆様も健康の為に是非、禁煙する事をお勧めします。



新入会員 中島谷友一朗君

アイスホッケーを通じて、学んだことや気付いたことをお話しさせていただきます。

小学校4年生から始め、北中学校、工業高校とアイスホッケー部に所属し、平澤君とは中学の時は全国大会優勝の同じ部員として、高校のインターハイでは決勝で対決した間柄でもあります。高校卒業して当時の国土計画に入部後、先輩達に付いていけなくて実業団のレベルの高さを痛感していたころ、他のチームの同僚と会う機会がありました。そこで「優勝のできないチームのレギュラー」と「優勝狙えるチームの補欠」は一体どっちが良いのかという議論になり、喧々諤々話し合った結果は「無い物ねだりしないで今ある環境でベストを尽くそう」と言うことになりました。それから数年が経ち、私もレギュラーにとしてチームに貢献できるようになり日本代表にも選ばれることができました。翌年、怪我でシーズンを棒に振ったわけですが、復帰したときに与えられたポジションがベンチ入りはするが試合には少ししか出られない立場でした。その立場に満足していない自分がいて何をやっても楽しくないという悪循環に陥り、その後チームを退団するまでになってしまいました。入部したてのころはベンチ入りを目標に純粋に頑張れたのに一度上を見てしまうと中々同じ立場には戻れない、勘違いをしていた自分に気付いたのは引退してからでした。

その教訓を生かし今後の人生は無物ねだりしないで今ある環境でベストを尽くし初心を忘れないで謙虚な心で生きていこうと思ひます。